

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
清水克時
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

金谷文則
菊地 臣一
黒坂昌弘
高岸 憲二
土屋 弘行
戸山 芳昭
内藤 正俊
吉川 秀樹

編集同人

生田 義和
井樋 栄二
岩田 久
岩本 幸英
大井 利夫
小野村敏信
加藤 博之
金田 清志
腰野 富久
紺野 慎一
楠田喜三郎
酒 匂 崇
桜井 実

澤村 誠志
田辺 剛造
田畑 四郎
玉置 哲也
中村 耕三
馬場 久敏
浜西 千秋
佛淵 孝夫
三笠 元彦
三浦 隆行
持田 讓治
山田 治基
吉川 靖三

今月(2014年5月22~25日)は神戸で黒坂昌弘教授主催の第87回日本整形外科学会学術総会が開催されており、学会の合間に原稿を書いています。素晴らしい企画の学術総会であり、中でも出色はノーベル賞受賞者の山中伸弥先生の講演でした。世界に名高い科学者ですが、ご自身のことを「Pseudo 整形外科医」とユーモアを加え、iPS細胞の開発とその応用についての素晴らしい講演でした。外国の資金豊富な研究所や会社に負けず、特許などの知的財産を先取してもらいたいと考えています。

本号の視座「臨床研究ノススメ」では産業医大の酒井昭典教授が、日常診療から仮説を立てそれを検証する clinical oriented research について述べており、全く同感です。論述の「セメントレス人工膝関節置換術後の weekly PTH 療法は bone ingrowth を促進させる」も優れた臨床研究です。半場道子先生による「運動器のサイエンス」の「運動器活動は慢性炎症を抑制する」は優れた科学講話です。「運動すると体が丈夫になる」といった根拠のない健康神話を、脂肪細胞が分泌する adipokine のほとんどが慢性炎症を促進するのに対し、筋細胞が分泌する myokine は抗炎症作用を持ち、その分泌促進には有酸素運動が有効と、科学的に解説されています。Myokine は健康長寿の延伸にも重要と考えます。「臨床医に必要な放射線の知識 Q&A」は原発再稼働差し止め判決が出たことから up to date な話題です。

臨床経験「関節面直下に fracture void を伴った橈骨遠位端骨折に対する DVR® 掌側ロッキングプレート固定の治療成績」では、fracture void を合併した不安定型骨折に対して DVR 固定と subchondral bone tamp 法を併用して良好な固定を得られたとの報告であり、遠位設置型プレートや double-tiered subchondral support 法とともに骨粗鬆症を合併した不安定型骨折には有用と考えられます。「軟部肉腫に対する化学療法における悪心・嘔吐の制御」では、化学療法の drop out 例の大きな原因の一つが悪心・嘔吐であり、アプレピタントとパロノセトロンあるいはグラニセトロンの併用が有効であることが示されました。症例報告では化膿性肩鎖関節炎や筋肉内浸潤型血管脂肪腫の比較的良好な結果を得られており、また、結核性脊椎炎の前方固定に切断した脛骨を使用した例も優れた工夫です。そのほか、トシリズマブ投与による肝機能障害、股関節から大腿部の疼痛を訴えた閉鎖孔ヘルニアなど、本号も有用な情報が満載です。臨床にお役立ていただければ幸いです。(金谷文則)

臨床整形外科 (第49巻第7号)

2014年7月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,500円+税

2014年 年間購読料(税込, 送料弊社負担)

冊子版	30,240円
冊子+電子版/個人	35,240円
冊子+電子版/共有	39,800円
電子版/個人	30,240円
電子版/共有	34,800円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

オンライン投稿 ID:rinseige パスワード:rinseige

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2014, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。